



2018年4月

第274号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 小口 多津子
副会長 並木 信一
書記 茂木 稔・山本 英次
会計 長谷川 あや子
幹事会長 辻 久子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清・多河 敏子
直前会長 中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」
スローガン “Friendship across the borders” 「国境なき友情」
アジア地域会長 Tung Ming Hsian(台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」
あずさ部部長主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり一歩でも前に一歩してあげよう」
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

2018年4月例会プログラム

日時: 2018年4月14日(土)

場所: 八王子市北野事務所 2階大会議室

受付: 福田、大久保重子

司会: 多河

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

ゲスト・ビジターの紹介

大久保重子さん 入会式

聖書朗読・食前感謝

会食

卓話 「笑顔が持つ、底知れぬパワー！」 林 良健氏

クレーンレ創研代表 いきいきふれあい塾塾長

“笑いの治癒力”、心とからだの不思議な関係! ~

報告・連絡事項

スマイル

Happy Brithday

閉会点鐘

小口会長

一同

一同

小口会長

小口会長

福田

小口会長・各担当者

大久保

小口会長

小口会長

巻頭言

絶賛を博した「チャリティコンサート」

花輪宗命

東京八王子ワイズメンズクラブの最大行事「チャリティコンサート」が、去る3月10日(土)午後2時より、八王子市北野市民センター8階ホールで開催されました。

「チャリティコンサート」は、このブリテン3月号の巻頭言で、久保田貞視さんが紹介したように、当クラブをチャーターした1994年から3年目を記念する地域奉仕事業として開催したのが嚆矢ですが、爾来毎年継続して開催し続けてきたので、今年で第20回という節目を迎えました。

元来のコミュニティーサービスの趣旨に、途中から「地雷廃絶日本キャンペーン」の支援や「東日本大震災支援」のためのチャリティ募金の目的も加わり、年々歳々が上にも盛り上がってきたコンサートだけに、実行委員会のメンバーも、1年

先月の例会ポイント (3月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	7g
メン	13名	累計	7g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	88%	累計	0円
メネット	6名	スマイル	0円
ゲスト	0名	累計	64,662円
ひつじぐも	6名	オークション	0円
		累計	0円

聖句

「死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。」
(詩編23編4節)

前から着々と準備を進めてきたので、当日までには、当クラブのメン・メネット全員が、一丸となって支える一大イベントに育ってきました。

当クラブのメンバーの熱い想いが天にまで届いたのか、当日は穏やかな晴天に恵まれ、開場と同時に、地域の住民の皆様は固より、東日本地域やあずさ部の支部のメン・メネットをはじめ、多くのお客様をお迎えすることができ、開演までには300席余のホールは、ほぼ満席状態になりました。

今回のコンサートのステージは、昨年もこの「チャリティーコンサート」で演奏を披露し、好評だったクラリネット奏者の上田亜紀子さんとピアノの山本琢さんを中心に、ギターの前木健司さん、ベースの田野重松さん、ドラムスの矢代邦義さんという一流のアーティストを加えた新ユニット:SWING SWING SWING につとめて頂きました。

東京八王子ワイズメンズクラブの小口多津子会長と「地雷廃絶日本キャンペーン」の幸坂説子氏の挨拶に続き、早速、胸躍り、心ときめくジャズの演奏が始まりました。

今回の演奏曲目は、代表の上田亜紀子さんが、多くの聴衆にとって懐かしいと思われる作品の中から、昨年の曲目と重ならないよう最後まで熟慮を重ねて厳選した前半第1部の8曲、後半第2部の8曲で構成されていました。

プログラムに載っていた曲名では、「ムーンライト・セレナーデ」や「二人でお茶を」くらいしか馴染みがありませんでしたが、実際に演奏が始まると、いずれもかつて胸を躍らせたメロディーやビートの曲ばかりで、客席からは、リズムに合わせたステップの響きや、曲に合わせて体を揺らすウェーブが、澎湃として湧き上がってきました。

「チャリティーコンサート」の趣旨に合わせた「スマイル」や「シング・シング・シング」でクライマックスに達したコンサートは、アンコールに応えた「LOVE」の演奏で締めくくられ、ホールのロビーは、お客様の笑顔で溢れかえりました。

ご来場のお客様には、身に余る賛辞を頂き、また、チケットを購入して頂いた上に別途用意した募金箱にも沢山の「スマイル」を寄せて下さいました。この場をお借りして、当クラブのメンバー一同、心から感謝申し上げます。



次期クラブ会長・部役員研修会

長谷川あや子

3月3日(土)～4日(日)御殿場の日本YMCA 東山荘にて次期クラブ会長・部役員研修会が開催されました。八王子クラブにとってはチャリティーコンサートの1週間前に行われる街頭募金の日に当たっており、募金活動に参加出来ないのは大変心苦しいことではありましたが、次年度の準備として大切な研修会ですので、次期ユース事業主査の小口さんとともに出席いたしました。私は次期東日本区会計として次期クラブ会長の皆さんに「会計としてのお願い」をお話する立場での出席でした。

次期東日本区理事は宮内友弥さん(東京武蔵野多摩クラブ)です。研修会は東日本区の現況やアジア・太平洋エリア・国際の現状を知る機会でもあります。次期東日本区理事の主題、方針をしっかりと聞き、その思いを受け止めて自分たちのクラブはどうあったらよいか考える最初の機会です。

理事主題 「為せば、成る」

副題 「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。」

リーダーがメンバーを動かすのではなく、メンバー自ら動く組織を目指したい。コミュニケーションや信頼関係を重視するサーバントリーダーシップの実践を呼びかけられました。

次に各事業主任の方針を全体でお聞きし、更に5グループに分かれた部屋で改めて事業主任を囲んでの話し合いとなり、短時間ではありましたが理解を深めるのに役立ちました。

夕食懇談会は88名の出席者が10のテーブルに分かれてつきまじりましたが、初めてお会いする他部の方とも親しくお話しできるよい機会でした。私は横浜クラブや伊東クラブという普段接することのない方達と同じテーブルになり、お話もはずみ楽しいひとときを過ごさせて頂きました。

二日目は新しい試みとして IT ツール活用について (facebook で EMC 活動) の研修が行われました。ワイズはせっかく良い事をしているのに外に伝わらないとよく云われることですが、facebook を活用して広報活動しようという試みです。今後もっと具体的な話し合いができるとうと思います。

富士山の麓、豊かな自然の中で、次年度のための研修を受ける幸せを感じた二日間でもありました。ありがとうございました。



高尾の夜桜は辻さんのお宅！

小口 多津子

高尾のマンションの桜はまだ3分咲き、といった土曜日の夕方6時から辻直治・久子さん宅で第二例会を持ちました。出席は、中里さん、茂木さん、山本さん、多河さん、辻夫妻、久保田佐和子さん、中塚さん、福田さん、小口の10人でした。夕食は蕎麦のお弁当と久子さんのちらし寿司。蕎麦に限ったことに、辻メンの説明がありました。「クラブ草創の頃、第二例会というと、かつてのメンバーだった富永さんが自宅に招いて、いつも蕎麦を出されたとのこと。その頃の八王子クラブは、他クラブでも羨ましがられるほど、仲の良いまとまったクラブだった、その頃にもう一度戻って、八王子クラブをずっと続けたい」でした。山本さんのスペインのお土産のワインで、乾杯。話し合いは、チャリティーコンサートの反省などで終始して、その後久子さんのピアノで歌を2曲。それから大事に保管されてあった、あの懐かしいミュージック・バルを久し振りに広げて、優しい曲の一つ演奏(?)しました。9時に閉会。辻さん、久子さん、ごちそうさまでした。長いことお世話になりました。

(写真には佐和子さんが入っていませんが、お台所でした。)



他クラブ訪問「東京クラブ・メネットナイト」

小口多津子

どこも、こぶしの花が真っ白に咲いている東陽町、YMCA 社会体育・保育専門学校での東京クラブ・メネットナイト例会に3月13日出席してきました。先の八王子クラブの2月メネットナイトに細川メネットと松本メネットにお出で頂いたこともあって、東京クラブのメネット例会に一度は伺ってみたいかったです。大村知子メネット委員長(三島クラブ)もご出席でした。東京クラブメンバーを含めて45人ほどの出席者でしたので規模はさすがと、思いました。出席していると、どうしてもわがクラブのメネットナイトと比べてしまいました。いいなと思ったことがありました、最初から最後まで例会がメネットさんの領域でした。なんと、男性メンバーは、一番後ろの席におられ前面には一度も出てきません、視野の中はす

べて女性という一貫したその雰囲気は見事でした。(もともとメンはマイクの調子を直し、卓話の映像の調節はされてはいませんが)。開会(閉会)点鐘も、クラブ連絡事項なども全てメネットさんが交替の受け持ちでできていました。

卓話も女性です。「おもてなしの舞台裏」と題して、ほとんどのバスガイドインストラクターの遠藤花子氏。懐かしい古い写真を沢山見ながら、ほとんどのバスガイドの歴史や短期間での猛特訓の社員教育のお話をユーモアたっぷり、楽しく伺いました。メネットナイトを持つクラブは東日本区でも数えるほどでしょうか、その中に東京クラブやわが東京八王子クラブがあり、歴史もありで、この先ワイズメンが減少していく中で、これからはスポットライトが当たっても思議ではないでしょう。

八王子駅前街頭募金

多河敏子

2018年3月3日は街頭募金の日でした。この日は大体、例年寒さの残る日です。書いている今日は3月中旬ですが、スギやヒノキなどの花粉が高尾山方面から飛んで来ているので、大きな木には黄色い花粉がついています。

いつものズボンをはき、八王子駅北口へと出かけました。

募金活動は午後1時45分から3時15分までの約1時間30分です。

クラブからは並木さん・雍子さん・中塚さん・茂木さん・福田さんの皆さん、そしてYMCA 西東京センターから中里さんが参加され多河の計7名の参加でした。

いつも参加される小口さん・長谷川さんは東山荘での会合があり、また辻さんも体調の関係で今回は参加されませんでした。又眞野さん大久保さんも仕事等で参加出来ませんでした。

この日、ひつじぐもからの力強い応援があり、原部佑基君(ワイズ係)・渡辺君・宮内蒼也君(委員長)・恩田春香さん、岡村絢音さんの5名の参加でした。

合計12名での声かけでした。小遣いの中から募金箱に入れてくれる小さい子供さんやおじいちゃん、おばあちゃん募金には金額の大小には関係なく、本当に感謝の気持ちが湧いて来るのを感じました。

いつものことながら中央大学ひつじぐもからの参加はとても大きな力になりました。募金が終了して、みんなでいつもの場に行き並木さんを中心に寄付金の合計額をまとめました。その結果、今年は(24,450)円でした。

原部さん、渡辺さん、宮内さん、恩田さん、岡村さん寒い中を本当にお疲れさまでした。

西東京センター便り

館長 中里 敦

先日、国立に来て初めてお花見をしました。満開の桜越しにもう少して満月になる月がちらほらと見え隠れし、風に吹かれて花びらが舞う風景は、なんとも風情があり、ゆったりとした時間の流れに慌ただしい心が落ち着いていきました。忙しく一つのことしか見えていなかった時にゆっくりと周りを見回す心のゆとりが持て、自然を愛する心がまだあったことにホッとしました。花見という日本文化に、そして素敵なるものを創られた神様に感謝するひと時でもありました。

新年度を迎えた4月1日はイースターでした。イエス様の復活を喜び新しい誕生を記念する時でした。YMCA は今年の10月にブランディングにより新しい命を与えられました。スローガンである『みつかる・つながる・よくなっていく』の言葉の意味を常に考えていくことが求められます。西東京センターでは、『わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。(コリントの信徒への手紙2第4章18節)』を聖句として掲げています。目に見えるものだけを信じ、追い求めるのではなく、目に見えないところにも価値があることを忘れずに『みつかる・つながる・よくなっていく』YMCAでありたいと願います。今年度もワイズの皆様と共によくなっていく1年にしたいと思います。

ご報告ですが、新しい年度で異動があります。11年も西東京センターを守ってくれた「中元美佳」が山手センターに、新人で配属された、「押山愛紀子」も山手センターに異動となります。また、放課後等デイサービスさくら国立を立ち上げから頑張ってくれた「樋上巧洋」は退職し、新たな道へと歩むこととなりました。新たな場所で活躍する姿を目にしたいと思います。これまで同様お支えいただけますようお願い申し上げます。

復活祭（イースター）とは

イエス・キリストは、十字架上で死んでから三日目に、復活されました。ちょうどひよこが卵の殻を破って出てくるように、キリストも死という殻を破ってよみがえられたことを象徴しているのです。

高尾の森わくわく便り

館長 古市 健

朝晩こそまだまだ冷える日もあるものの、昼間は暖かく、日によっては早くも初夏を感じさせるような日すらある季節となりました。体感的に今年は暖かくなるのが例年より早く、驚くことに高尾の森わくわくビレッジの桜も3月末でほぼ満開となりました。例年は首都圏よりも遅く、4月に入っても長く桜が楽しめるのですが、今年は4月の早々には散ってしまうことでしょう。早く桜が楽しめるのは良いのですが、散るのも早そう、嬉しような寂しいような複雑な気分です。

おかげさまを持ちまして、間もなく高尾の森わくわくビレッジ2017年度の運営が、大きな事故トラブルなく無事に終えようとしています。今年も多くのお客様に足をお運びいただいたこと、職員一同、誠にありがたく感じております。実は今月も200名規模の大きな団体、しかも連泊でご利用の予定だった団体のキャンセルが2月の末に発生いたしました。キャンセルを受けた当初は、前年度同月と比較し、600名程度の減員が見込まれましたが、その後ホームページで積極的に空室の情報をお客様にご紹介した結果、わずか1ヶ月程度の期間に新規の予約が300名以上入り、結果的には前年度比マイナス300名程度に留まることが出来ました。「空室があれば泊まりたい」と多くの方々に思っていたいただいていることを改めて感じ、感謝の気持ちで一杯になりました。

1年間トータルで見ましても、今年は大口予約のキャンセルが比較的多く、前年度と比較してやや宿泊者数を下げました。しかしながら前年度以上に多くのお客様に活動施設をご利用いただき、活動支援プログラムも実施していただきました。宿泊者こそ少し下がりましたが、大変多くのお客様に高尾の森わくわくビレッジで活動いただいた事実は変わらないものと感じております。来年度もより一層、多くのお客様にご利用いただき、多くの笑顔に出会えますよう、職員一同、力を合わせて業務に取り組んで参る所存です。引き続き皆さまからもご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

お話

「昨年末、妻は奈良在住の弟に先立たれ、また、つい最近、一緒にやっている文学会の会長に急逝された。妻が数時間前まで文学会で話しかっていた人で、あまりにも現実離れした突然の出来事に、私も呆気にとられた。

人生というのはこういうものなのか、と改めて衝撃を受けた。私自身も昨年は3回も入退院を繰り返し、死の陰の谷を歩き通した。その間中、奉仕してくれたのは老齢の妻である。

来院する老妻を支えて下さっている主を私は病床で一再ならず感じたものである。情け深い主に、随分お世話になったものだ。折角与えられた残りの命を、どのように捧げたものだろうかと思っ過ぎて過ごす毎日である。

仲田 達男

中大ひつじくも活動報告 【八王子生活実習所】

2018年3月26日(月)

中大ひつじくも 委員長 宮内蒼也

今回は、9人という多くの参加者で、活動に参加させて頂きました。3つのグループに分かれて、それぞれ3人ずつ、フィットネス、作業のお手伝い、ICTを使った活動をしました。

そして、初参加の方は実習所について説明を受けました。最後には、参加者全員が集まり、ICT技術を使ったゲームを体験して、とても楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。また大人数で参加できたら嬉しいです。(文責:永吉真穂)

参加者の感想を紹介いたします。

「今回の実習所での活動では、フィットネスのお手伝いをさせて頂きました。実習所には色々な個性を持った方々がいらっしやっただけで、人とどう接していくかを考える上でとても良い経験になりました。また、新しく実習所で導入されたICTというコンピュータを使った活動にも驚かされつつも、あらゆる方法で障がいを持った方々に楽しんでもらおうとする意欲には本当に感嘆しました。今後また行かせてもらおうと思っています。どうぞよろしくお祈りします。」(文責:和田卓也)

「初めての参加だったため、最初はとても不安でしたが、利用者の方々も職員の方々もとても優しいので、そんな気持ちが消えていきました。

みなさんがコミュニケーションを大切にしているのが印象的でした。私も利用者の方とコミュニケーションをとり、笑顔で応えてもらった時はとても嬉しかったです。

活動の最後には、視覚や、画像と音声などを用いた、最新のツールによるコミュニケーションの取り方を教えていただきました。現代の技術が意思疎通を円滑にしていけることを実感しました。とても良い経験になりました。」(文責:跡部恭子)

「今日はICTという最先端の技術を使って目先だけを使うゲームをしました。障害者の方が体験して、興味を持ってもらえるように実習所の人たちいろいろ試したりしました。障害者の方はコミュニケーションがあまり取れなくわかりませんが、きつと満足して頂けたらと思います。

ICTは白門祭でも大盛況を呼ぶと思うのでぜひ検討したいです。」(文責:戸加里春樹)

「私は今回、八王子実習所へ初めて参加しました。今回の活動は、利用者の方々と共に牛乳パックのラミネート剥がしを行いました。ラミネートを牛乳パックの紙の部分は、籠などの工芸品に使えるそうです。私は利用者の方々と会話をしつつ、時折ハイタッチを交えながら作業を行いました。

帰りがけに、利用者の方から「また、来る？」と笑顔で言われ、次月から学年が上がって、新入生が新しく入ってきますが、私はこの八王子実習所での活動の魅力を伝え、広めていきたいと思っています。」(文責 齊藤晴樹)

「今回が2度目の参加となりました。

少し成長したかと思いきやガッチガチに緊張してしまいました。

しかし、そんな自分に施設の利用者の方が笑顔でハイタッチをしに来てくださりそれが本当に嬉しく、笑顔がずっとずっと目に焼きついて今も離れないです。

素敵な時間を共有させていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。」(文責:恩田春香)

須郷君の台湾紀行(その1)

Dear Mr.Tom,

Thank you for your help.

I cannot wait to go to Taiwan.

See you in Taiwan!

Toshiki

小口さん

久保田さん

こんばんは。返信遅くなり申し訳ございません。

さきほど荷造りが完了いたしました。

春休みはアルバイトで忙しく、なかなか余裕を持った日々を過ごせませんでした。

なので、今夜は友人とゆっくりと過ごすことといたしました。出国前最後の日本を満喫してまいります。

小口さん、久保田さんはじめワイズの皆様には大変お世話になりました。

台湾で成長した姿をみなさまにお見せできるよう、努力いたしますのでご期待ください。

それでは、またお会いいたしましよ。 須郷

須郷君

台湾・高雄ポートクラブのトム・チャンさんと十分相談しながら、有益な3か月を過ごすことを期待しています。

韓国・麗水での国際大会に出席しますのでその時にでもお会いしましょう。トムさんも出席される予定と聞いています。お元気で。 久保田



報 告

3月24日 第二例会報告

場所・時間 18:00～20:30 高雄、辻さん宅

1. チャリティーコンサート会計報告
2. コンサートアンケート結果(回収60枚)の分析報告
3. 2018年7月～19年6月年間行事予定(小口・久保田)
4. 来期クラブ担当役割及び班編成(小口・久保田)
5. クラブ所有のハンドベルの今後の利用について(辻)
6. 辻メネット自作のちらしすしとダイエーのおそば、山本さんよりのワインで堪能
7. 談笑・合唱

出席者:辻・辻メネットのホスト。小口、山本、福田、中塚、中里、多河、茂木、久保田メネット 10名

絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】2月16日(金) 手工芸 14:00～15:00

参加者:色川、下重、多河、山中、茂木

【予定】4月13日(金) ペーパーフラワー14:00～15:00

*BF2018年3月報告

切手: 国内(多河7g)

7g

海外 3枚(多河イギリス2枚、クエート1枚) 累計3枚

プルタブ 0g

累計 0kg



<西東京センター 主な行事予定>

【4月】

◆7日(土)・8日(日)「国立さくらフェスティバル」@谷保第三公園

◆10日(水) 14:00～15:00「のどトレ」@西東京コミュニティーセンター

参加費:700円

今年度からのどトレに名称が変更となりました。声だけでなく誤嚥予防など「のど」に関する全般をトレーニングしていきます。健康維持に様々な役立ちますのでぜひご参加ください。

◆30日(月・祝日) ペタペタの会

今回は青梅市御岳周辺を予定しています(時間は9:45～15:00頃を予定)

詳細は西東京センターまで。

4月第1例会の卓話者紹介

林 良健 氏 (1941年生まれ)

クラーレ創研・代表 いきいき・ふれあい塾 塾長

経営者モーニング・セミナー主催

社団法人倫理研究所 副参事・特任生活倫理相談士

4月のお誕生の皆さん

久保田 貞視さん 4月8日

仲田 節子さん 4月24日

これからの予定

4月18日(水)あずさ部3クラブ合同メネット会

4月28日(土)第二例会

5月12日(土)あずさ部第3回評議会

富士五湖クラブ15周年記念会(魚吉会館)

5月13日(土)ひつじぐも新入生歓迎会・草とBBQ(わくわくビレッジ)

5月19～20日大阪セントラルクラブとの合同例会(大磯～横須賀)

5月26日(土)5月第二例会

ブリテン編集委員

山本英次・茂木稔・大久保重子・多河敏子

<http://ys-east.jimdo.com/bulletin/tok-yohachioji/>